

平成22年4月5日現在

研究種目：若手研究（B）

研究期間：2007～2010

課題番号：19720004

研究課題名（和文） 討議倫理学の応用可能性に関する研究

研究課題名（英文） On the applicability of discourse ethics

研究代表者

久高 将晃（KUDAKA MASA AKI）

琉球大学・法文学部・准教授

研究者番号：80398304

研究代表者の専門分野：西洋倫理学

科研費の分科・細目：哲学・倫理学

キーワード：討議倫理学、応用可能性

1. 研究計画の概要

本研究の概要は、以下の三つの目的によってまとめることができる。

(1) 討議倫理学の道德原理の「応用（適用）問題」を中心として、討議倫理学の誕生から今日までの展開を体系的に分析・提示する。

(2) (1) で得られる成果を批判的に検討することで、討議倫理学の応用可能性を明らかにする。

(3) その際、従来の討議倫理学において論じられていない観点、すなわち「具体的な問題状況における討議の現実的不可能性」から、新たな討議倫理学を提示する。

2. 研究の進捗状況

上記の「研究計画の概要」における三つの目的に関して、研究は以下のように進んでいる。

(1) まず、70年代から80年代の討議倫理学の展開に関しては、K・ーO・アーペルによる討議倫理学の提唱から「応用問題」に関連した責任倫理学としての討議倫理学の提案について論じた（論文⑤）。

次に、90年代の討議倫理学の展開に関しては、アーペルのアプローチに批判的な、M・ニケによる「道德の現実的討議理論」について論じた（論文④）。

最後に、2000年代の討議倫理学の展開に関しては、従来の討議倫理的アプローチを

「規範倫理学」と批判する、M・H・ヴェルナーの「格律の倫理学」について論じた（論文②）。

(2) まず、アーペルのアプローチの批判的検討に関しては、その問題点を指摘した（論文⑤）。

次に、ニケのアプローチの批判的検討に関しては、その「相互性」の原理の問題を指摘し、その解決案を提示した（論文③と④）。

最後に、ヴェルナーのアプローチの批判的検討に関しては、その「格律の倫理学」に対する反論を検討し、擁護した（論文②）。

(3) に関しては、現在のところ、それほど研究は進んでいないが、(1)と(2)の成果に基づいて、「具体的な問題状況における討議の現実的不可能性」に関わる道德原理を考慮することで、従来の討議倫理学では扱うことのできない「適用問題」への新たなアプローチを提示したいと考えている。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

上記の「研究の進捗状況」から明らかなように、研究目的の(1)と(2)はほぼ達成されており、おおむね研究計画通りに研究は進んでいると考えられる。

4. 今後の研究の推進方策

今後は、特に研究目的(3)に焦点を絞り、従来の討議倫理学では論じられていないと

考えられる「具体的な問題状況における討議の現実的不可能性」という観点から、討議倫理学を考察し、「応用（適用）問題」に対する新たな討議倫理学の可能性を探究したい。

5. 代表的な研究成果

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計5件）

- ①久高将晃、「討議倫理学における道徳原理の定式化について－義務論の原理としての「普遍化原則」の役割－」、『人間科学』（琉球大学法文学部人間科学科紀要）、第25号、印刷中、2010年、査読無し
- ②久高将晃、「討議倫理学の新展開－M・H・ヴェルナーの「格律の倫理学」としての討議倫理学について－」、『フィロソフィア・イワテ』（岩手哲学会）、第41号、印刷中、2010年、査読無し
- ③久高将晃、「討議倫理学の「適用問題」に対する新たなアプローチ－マルセル・ニケの「道徳の現実的討議理論」における「相互性」の原理について－」、『人間科学』（琉球大学法文学部人間科学科紀要）、第23号、245-261頁、2009年、査読無し
- ④久高将晃、「討議倫理学の新展開－マルセル・ニケの「道徳の現実的討議理論」について－」、『MORALIA』（東北大学倫理学研究会）、第15号、144-160頁、2008年、査読無し
- ⑤久高将晃、「討議倫理学の展開－討議倫理学の誕生から責任倫理学としての討議倫理学まで－」、『人間科学』（琉球大学法文学部人間科学科紀要）、第21号、19-41頁、2008年、査読無し

〔学会発表〕（計1件）

- ①久高将晃、「討議倫理学の新展開－M・H・ヴェルナーの「格律の倫理学」としての討議倫理学について－」、岩手哲学会、2009年7月25日、岩手大学人文社会科学部

〔図書〕（計0件）

〔産業財産権〕

○出願状況（計0件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

○取得状況（計0件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕